

Epistula

エピストラ

大分県立芸術文化短期大学

2010
1・3
vol.18

【新春号】 epistula,ae, f. 手紙, 文書〔ラテン語〕
(研究社『羅和辞典』より)

佐藤しのぶさん、森島英子さん、中山欽吾学長の 3人座談会が行われました。

一流の芸術家によるパフォーマンスを県民に贈る「GEITAN presents The Great Artists」。今回は、世界的にも著名なプリマドンナである佐藤しのぶさんに登場いただき、11月20日、iichiko音の泉ホールで『佐藤しのぶソプラノリサイタル ～人の心をつなぐプリマドンナ』を開催しました。第1部「團伊玖磨の世界」に続き、第2部「カルメン」では、本学音楽科の行天祥晃准教授も賛助出演。ピアノの森島英子さんともあわせ、3人の息のあった舞台に満員の観客が魅了されました。



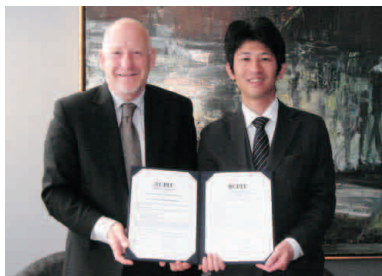
▲佐藤しのぶさん(中央)とピアニストの森島英子さん(左)

リサイタルに先立ち、本学の中山欽吾学長と佐藤しのぶさん、森島英子さんの3人で座談会を開きました。オペラ研修所でのこと、イタリアでの留学・国際交流のこと、大分とのつながりや若き芸術家、大分県立芸術文化短期大学へのメッセージなど、話題は次々と広がりました。座談会の内容は、本学ホームページで公開しています。ぜひご覧ください。



ニュージーランド・クライストチャーチ工科大学と交流協定を締結

昨年12月15日、玉井昇専任講師が、ニュージーランドにあるクライストチャーチ工科大学(CPIT)を訪れ、交流協定が締結されました。クライストチャーチ工科大学は、ニュージーランド南島の中心都市クライストチャーチの中心部にキャンパスを持ち、創立100年を超える歴史をもつ、国立の教育機関です。「工科大学(polytechnic institute)」という名称ですが、言語学や情報・コミュニケーションからビジネスや観光などの専攻を含む人文系の学科をはじめ、音楽や美術・デザインなど芸術系の学科も有し、本学と重なる教育領域が数多くあります。交流の第一歩として、短期の教育プログラムに関する内容が決定しました。本学の海外語学実習生が今年の2月から3月にかけてクライストチャーチ工科大学に在籍し、午前中は英語の語学実習、午後は現地の文化や社会について学ぶニュージーランド・スタディーズや、エコ・ツーリズムについて考える校外実習プログラムに参加する予定です。



▲工科大CEOバーンズ博士と玉井講師

江漢大学と教員、学生の派遣を約束

昨年2月、中国・武漢市の江漢大学へ中山学長を団長とする一行が訪問し、両学の学生交流、学術交流に関する交流協定を締結しています。

江漢大学から楊衛東学長や王心耀芸術学院院長、鄧正兵人文学院院长など5名の一行が10月20日、本学を訪ねました。一行は、今後の交流内容などについて意見交換会を行い、その場で、合唱指導を含む実技指導のために本学音楽科教員を江漢大学に派遣、江漢大学からは日本語教育指導法習得のために日本語教員を本学に派遣するといった具体的な確認書を交わしました。

なお、江漢大学からの日本語教員は3月に来学し、国際文化学科を中心に半年間の研修を受ける予定です。



平成21年度「まちなかプラザ」事業に参加します。

県内の高等教育研究機関の「学と学の連携」の一環として、大学の取り組みを広く公開し、高等教育の魅力を伝え人材を育成することを目的とした「まちなかプラザ」事業に、芸短大も参加しています。

タイトルは「学問のススめ」。高校生や一般の県民の方々に、大学で学ぶ「学問」の入り口だけでも味わってもらえれば、との思いで企画しました。講座は全6回で、選択することもできます。今年1月9日～2月13日までの毎週土曜日、17時から18時30分までの90分間。会場は大分市ガレリア竹町アーケード内 wazawaza3階301号室です。なお各講座のテーマと担当教員は以下の通りです。



【小川伊作教授】音楽学入門～音は楽しむものだけにあらず 【荻野哉専任講師】芸術学入門～アートの世界 【水野僚子専任講師】日本美術史入門～日本美術の世界～用と美の日本文化 【吉良伸一教授】社会学入門～少子高齢化を考える 【高瀬圭子准教授】ヨーロッパ文化史入門～紋章が語るもの 【関口洋美専任講師】心理学入門～感じる心、考える心

テレビ大分と相互協力の協定に締結しました

10月21日、株式会社テレビ大分(TOS)の結城宣孝社長が本学を訪れ、テレビ大分と本学とで相互の発展と大分県の活性化を目指し、幅広い分野で連携するための協力協定を結びました。この協定により、(1)情報発信の推進における諸課題、(2)芸術文化の振興における諸課題、(3)地域の活性化及びまちづくりの推進における諸課題、(4)教育及び生涯学習の振興における諸課題、(5)その他両者が必要と認める諸課題に両者で連携、協力していきます。本学とマスコミとの協定連携は、昨年7月の毎日新聞大分支局による寄付講座協定に続き2番目となります。

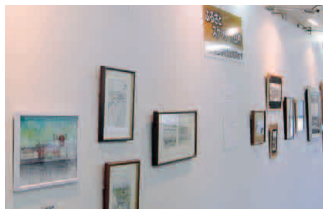
なお、協定締結後にTOSでは「ハロー大分」へ音楽科の学生の出演や「スパークオン ウェイヴ」では、本学が大きく取り上げられました。



▲結城宣孝TOS社長(左)と中山学長



▲第2回かいゆき展



▲ふれあいアート展ふるさとスケッチin臼杵

ん吉とネコのにゃん吉の作品を中心に、色鮮やかな作品が並びました。

街に飛び出せ!! 公開講座&作品展

10月26日に臼杵市内で開催した美術科主催の公開講座「一般参加者と美術科学生による『ふるさとスケッチin臼杵』」でのスケッチ作品を展示した「ふれあいアート展ふるさとスケッチin臼杵」を12月11日から20日まで、TOSハウジングメッセ展示場で開催しました。3時間という短い時間でしたが、参加した市民と本学専攻科造形専攻美術コースの学生は、臼杵の古い町並みを思い思いの視点と表現で作品に仕上げていました。

また、12月22日から27日までは、専攻科造形専攻1年で染色による作品制作を行っているかいゆきさんが個展「第2回かいゆき展」をアートプラザ・ギャラリーB(大分市)で開催しました。うさぎのぴょん吉とネコのにゃん吉の作品を中心に、色鮮やかな作品が並びました。



特別講義 「日本の伝統芸能 ～歌舞伎と供に育った長唄・三味線の魅力」開催

11月11日、「さくら会(代表・杵屋六絹也)」のみなさんをお迎えして、特別講義「長唄・三味線の魅力」を開催しました。長唄や三味線の実演により、学生たちは、日頃耳にする機会の少ない日本の伝統音楽の世界に触れると共に、講義後半部では三味線演奏の指導もあり、学生たちは果敢に挑戦していました。

【学生の感想】

以前ギターに挑戦したことがあり、楽器は少し苦手だったのですが、初めて触れる楽器で曲が弾けた時には感動しました。指導していただいた先生に感謝です。



▲熱演する「さくら会」のみなさん



▲三味線演奏に挑戦

TOS「ハロー大分」に マリンバで生出演

毎週土曜日、午前9時55分から放送されているTOSテレビ大分の情報番組「ハロー大分」に12月5日、打楽器コースの学生4人がスタジオで生出演し、『魔女の宅急便』の「海のみえる街」をマリンバで演奏しました。前日から楽器を搬入・リハーサルを行い、当日は芸短大から10名ほどの見学者もいるなかでの本番でした。出演した学生にとっても初めての体験で、かなり緊張したようでしたが、TOS側も初めて間近に見るマリンバに、リハーサル時から質問が飛び交い、おおいに盛り上がりました。本番ではスタジオが豊かなマリンバの響きに包まれ、アナウンサーや番組スタッフ、見学者も心地よいひとときを過ごしました。放送終わりの頃には「演奏に癒されました」と視聴者の方からのFAXも紹介され、出演者ともども喜びを分かち合いました。



▲TOSスタジオで司会の方々と一緒に

春が楽しみ♡園芸サークル恒例 チューリップの球根植えました (サービスラーニング認定)

吉岡孝准教授&園芸サークルは、12月の毎週土曜日、キャンパス各所にチューリップの球根を植え込みました。基本の赤・白・黄色に加え、ピンク&白などの2色を含む総数2,000個の球根が、春の到来を待ちわびています。

なお、開花は3月25日以降の予定です。お楽しみに。

●写真は2009年4月のものです



学長コラム

中山 欽吾

<テーマ>

明けましておめでとうございます



似顔絵／石丸 裕美

世界規模での景気落ち込みが私たちの生活を直撃して、厳しい逆風に向かっているような新年ですが、今年が少しでも暮らしやすく明るい年になるよう、強く前向きの希望を持つことが大切だと思います。

さて、昨年は「小さくてもキラキラ輝く芸短大」のキャッチフレーズで活発な活動をしてきました。全学挙げて実に様々なコンサート、公開講座などのイベントが行われ、たくさんの方々が活躍してくれました。芸短フェスタも35事業と一昨年よりさらに充実しましたし、参加してくださった県民の皆さんからも「芸短は変わってきたね」と温かい言葉をいただくようになりました。

とはいえ、私たちのやっている中身がこの一年でガラッと変わったわけではなく、どうすればキラキラ輝く芸短大になれるのか、みんなで考え行動してきたことが実を結んできたのだと思います。積極的な広報活動を行う体制を整えたことで、マスコミに多く取り上げられる様になり、より多くの県民に皆さんの活躍する姿が見えてきました。今まで努力してきたことが、はっきりと輝きとなって発信できはじめたのです。

相互交流協力をみても、この1年で結んだ協定は6か所となり、過去の合計数と同じになりました。教育機関では中国・武漢市の江漢大学(2月)、ニュージーランドのクライストチャーチ工科大学(12月)、芸術文化関係では大分県文化スポーツ振興財団(3月)、メディア関係では毎日新聞大分支部との寄付講座開設を含む協定(7月)、別府ビーコンプラザ共同事業体(8月)、TOSテレビ大分(10月)。自治体では一昨年11月に竹田市と結び、大分市、由布市に続く3つ目の協力体制が発足し、廃校となっていた下竹田小学校跡をサテライトキャンパスとしてアートキャンプを始めたこと(9月)も挙げられます。芸短大を塙で囲まれた敷地に閉じこめるだけでなく、ヴァーチャル(仮想)キャンパスとして県民の中に積極的に出ていくことが、座学では決して得られない貴重な経験となり、同時にそれが発信にもなるというわけです。

私たちの活動を後押ししてくれるように、「体験をスキルに変えるナラティブ能力育成事業」が21年度『大学教育推進プログラム』(文科省)に選定され、全学生を対象とした「人間力育成」への取り組みが始まりました。逆風にめげずに前進あるのみです。

<連載>

芸術と文化の都市めぐり^{まち}

第2回 ピアチェンツァ、ブッセート、ヴェローナ(イタリア)

イタリアの五大都市といえば、ミラノ・ヴェネツィア・フィレンツェ・ローマ・ナポリだが、今回はあえて私にとって想い出深い3つの街を取りあげよう。

ピアチェンツァ・・・私の留学したコンセルヴァトリーオ(国立音楽院)があり、ミラノからボローニャ方向に70キロほど南東へ下りたところに位置し人口は10万人ほど、小さいながらも趣のある街である。ピアチェンツァ市立歌劇場は、街の中心ドウオーモ(大聖堂)の南側にあり、この街の耳の肥えたオペラファンを魅了し続けている。初めてこの舞台上で演奏した時のうちふるえるほどの感動は、今でも昨日のことのように思い出される。

ブッセート・・・ピアチェンツァとパルマの中間に位置しヴェルディが中学時代を過ごしたこの街は、彼に関する資料館やヴェルディ劇場などがある。郊外ロンコレにあるヴェルディの生家を訪れた時、あまりに偉大なヴェルディが過ごした空間を肌で感じ、少しだけヴェルディに近寄れた気がした。

ヴェローナ・・・街のあちらこちらが「ロミオとジュリエット」

を彷彿とさせる。この地のシンボルアリーナ(円形野外劇場)は、約2万人を収容するという途方もない大きさ。ここで行われる夏の野外オペラ祭は圧巻である。夜9時過ぎに開演したヴェルディ作曲「アイダ」が終演したのは日付の変わった午前1時。興奮冷めやらぬ中、夜行列車に乗り帰途についたのも懐かしい思い出。私の第二の故郷イタリア、音楽薫る太陽の国イタリア、明るく愛情溢れる人々に囲まれこの地で学べたことは、私の財産である。(文・写真／音楽科 准教授 行天 祥晃)



▲偉大な作曲家
ヴェルディの生家



▲円形野外劇場



▲埋め尽くす観衆



▲ピアチェンツァ市立劇場・舞台上から

アートキャンプ

日時／2009年9月20日(日)～23日(水)
場所／(旧)下竹田小学校(竹田市直入町)

夏も終わり秋の訪れを感じ始めた頃、芸短有志の学生と県内の高校生は、歴史を重ね今は廃校となった直入町の小学校でアートキャンプを行いました。

美しい自然の中で様々な人と寝食を共にし、制作に没頭したこの4日間は、私達にたくさんの思い出と刺激を与えてくれました。

普段関わることのない他大学生や高校生との時間の共有は、自身の制作意欲をかき立てられ、より良い制作のきっかけとなりました。

広い空間を必要とする立体造形や、廃校という空間そのものを利用した作品、竹田のあふれる緑をスケッチで残したり、自宅や学校では出来ない制作を思う存分に出来て嬉しかったです。トラブルもありましたが、竹田の方々と協力して乗り越えることが出来ました。

このアートキャンプを行うことにあたって、多くの方々に協力して頂いたことを感謝すると共に、今後、私たちの制作活動にアートキャンプでの貴重な体験を活かしていけたらと思います。

(学生代表 高橋留璃子)



600名の宴 天才の生涯に拍手 全学有志が結集 創作劇「AMADEUS ～モーツァルトの生涯～」

大分市コンパルホール、12月20日午後6時の開演には10代から70代まで400名以上の観客が来場、35年という短くも波乱の生涯を送った天才作曲家の物語を200名に及ぶスタッフ・キャストとともに楽しみました。演奏・歌唱の指導には音楽科の先生方の協力を仰ぎ、劇中のダンスは、身体表現の発表の場ともなり、全学共通教育科目として一歩前進することができました。

終演後、200名以上の感想が寄せられました。「ユニークなシナリオでリラックスして楽しめました(60代男性)」「色々な角度から音楽を感じることが出来大変勉強になりました(50代女性)」「弦楽四重奏が大変心に響きました(40代女性)」「もっと多くの場所で多くの人に見ていただきたい(40代男性)」「帰ってモーツァルトを聞きたいと思いました(20代女性)」「歌声がどれも素敵で癒されました(20代女性)」「歌や曲を時代背景と共に聞くことができたので倍楽しめた(20代女性)」



国際文化学科 国際理解ワークショップ「世界が30人の村だったら」

10月25日、iichiko総合文化センター中会議室で、国際文化学科玉井講師によるワークショップ「世界が30人の村だったら」を、2008年に引き続き開催しました。小学生や中学生、高校生も加わって、楽しみながら「世界の今」を体感しました。

●以下は参加者の声です。

「今回体験したことを通して、自分がどんなに裕福で幸せなのか実感しました。この体験を通して、国際理解をもっと深めたいと思いました」

「世界を30人にしてみると、色々な国があって地球が成り立っているということが、本当にすごいことなんだと思います。もっと世界に目を向けて、私たちが日本でできる活動に参加していきたいです」



▲世界の矛盾、貧富の差を体感



▲アジアは広いのかせまいのか



第45回 定期演奏会でピアノ協奏曲の ソリストとして演奏して(10月12日)

メンデルスゾーン：カプリッチョ・ブリランテ 作品22

「コンチェルトをやってみない？」思えば全てはここから始まった気がします。オーディションといった形でソリストに選ばれたのですが、不安や期待など言っている暇もなく、本番まであっという間でした。本番中は、残念ながら鮮明な記憶が残っておりません。けれどもこの経験は私の一生の宝となりました。あんなに練習に悩み苦しんだのにまたやりたいと思うのが不思議です。最後にこの機会を与えて下さった関係者、先生方、特に石山先生には感謝を申し上げます。ありがとうございました。

(専攻科音楽専攻ピアノコース1年 山名 祥子)

ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番 作品18

【第1楽章】

まずは、今回の定期演奏会にあたってご指導くださった先生方、指導者の森口先生、オーケストラの皆さんに感謝の気持ちを伝えたいです。今回ピアノコンチェルトのソリストを経験できたことは、私の学生生活においてかけがえのないものとなりました。なかでも、ソロとは違い、やはりオーケストラとの共演は難しく、悩む事もありました。良い勉強をさせていただいたと思っています。本番ではオーケストラの皆さんと一体となり、一番良い演奏になったのではないかと思います。貴重な経験をさせていただいたことにたくさんの人への感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

(専攻科音楽専攻ピアノコース2年 越智可奈子)

【第2楽章】

私にとって定期演奏会で演奏させてもらえたことは一生の思い出になりました。コンチェルトが出来ると思った時は、嬉しい反面、不安や悩みもたくさんありました。しかし、レッスンをいつも熱心にして下さったり精神的にも支えて下さった先生をはじめ、ピアノの先生方や指揮者の先生、オケの先生方やオケの皆さん、友だちや先輩方、たくさんの方に支えてもらえたからこそ頑張れたし本当に楽しくて最高の本番を迎えることが出来たのだと思います。本当にありがとうございました。

(専攻科音楽専攻ピアノコース1年 山元 麻也)

【第3楽章】

これほどいろんな思いがあった本番は今までなかったと思います。本番までの道のりは喜怒哀楽いろんな感情があり、一日一日が濃くてあっという間でした。途中、挫折しそうになることもありましたが、本番を終え振り返ってみると全てがよい経験でした。この経験を次につなげることができたらと思います。最後になりましたが、ここまで支えてくださった皆様、本当にありがとうございました。

(専攻科音楽専攻ピアノコース2年 生野奈都美)



Bravo



GEITAN INFORMATION 2010. 1 ▶ 3

◆卒業式・修了式のご案内

平成22年3月23日(火) 10:00～
本学体育館において、平成21年度卒業式・修了式を行います。

※卒業生、修了生は、9:30までに入場、着席してください。なお、出席されるご家族・関係者の皆様は、体育館内へ入場できないことがありますが、控室として用意しております人文棟大講義室において、同時中継で卒業式・修了式の模様をご覧ください。



◆第48回 美術科卒業修了制作展

【期間】 2月16日(火)～21日(日)
【時間】 9:00～17:00(最終日は16:00まで)
【場所】 大分県立芸術会館

◆第48回 音楽科卒業演奏会

【日時】 3月18日(木) 17:00開場 17:30開演(予定)
【場所】 iichiko音の泉ホール

◆第26回 専攻科音楽専攻修了演奏会

【日時】 3月19日(金) 17:00開場 17:30開演(予定)
【場所】 iichiko音の泉ホール

GEITAN CALENDAR

1月 January／睦月

- 1日[金] 元 日
- 7日[木] 冬期休業終了
- 11日[月] 成人の日(祝)
- 13日[水] 専攻科造形専攻制作展(～20日)
【時間】 10:00～18:00(最終日は16:00まで)
【場所】 大分市アートプラザ
- 21日[木] 補講日
- 22日[金] 後期定期試験(～28日)
- 29日[金] 音楽科実技試験(～2月3日)

2月 February／如月

- 9・10日[火・水] 情報コミュニケーション学科卒業研究発表会
- 11日[木] 建国記念の日(祝)
- 15・16日[月・火] 国際文化学科卒業研究発表会
- 16日[火] 美術科・専攻科造形専攻卒業・修了制作展(～21日)
- 20日[土] 音楽科コンサートシリーズ No.48
「アンサンブルの夕べ」
【時間】 18:00開場 18:30開演
【場所】 iichiko音の泉ホール

3月 March／弥生

- 18日[木] 音楽科卒業演奏会
- 19日[金] 専攻科音楽専攻修了演奏会
- 23日[火] 卒業・修了式

次号のお知らせ

Epistula19「とびだせ新年度」号は、2010年4月1日発行予定です